

「第15回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への議会の見解

<p>Q. 【昭和交番の廃止（平成29年3月）に伴う件】 何故急に交番の廃止について、市長・市議会に対し話しがあったのか。また、その影響はどうか。市長、議長、議会、区长等それぞれの立場で意見書・要望書を県・安城署に提出したとの由であるが、廃止されることで今後、知立市の防犯・交通・災害等などのような影響があるか計り知れないと思っている。その対策・施策はどのように考えているか伺いたい。情熱をもって一志一何で進んで欲しいと要望します。</p>	
<p>1 議会の見解</p>	<p>平成27年9月14日に安城警察署から突然知立市に、昭和交番を平成29年3月で廃止の意向との説明があり、また、28日には市議会にも説明がありました。あまりにも唐突なこの方針提示に、議員側も困惑を禁じえませんでした。この廃止に関しての概要や理由は次のとおりであります。昭和交番については、昭和42年建築で47年経過し老朽化が進んでいる、通報は県内の交番と比較し、平均的な通報量の3分の2程度、被害受理件数は3分の1程度で業務の負担が他の交番に比べ軽い、谷田交番との距離が1.9キロメートルと近い、廃止後は谷田町にある交番に統合する、交番勤務警察官の集約により、犯罪や事故防止力を高め事案発生時の対応を強化する、というものでした。</p> <p>この地区は、十数年前から外国人住民が増加し、現在では多文化共生に尽力している地区で、そんな中で昨年、外国籍の知立団地住民が警察官の銃を奪い発砲する事件が起きております。このような特殊な地域状況の中で、昭和交番の存在は、犯罪や交通事故、非行等の発生抑止や治安維持に大きく寄与してきたわけであります。また、独居高齢世帯も多くいろいろな治安や生活の相談の窓口としても、昭和交番は当該地区の無くてはならない安心・安全の拠点といえます。</p> <p>知立市議会としては、この方針は到底受け入れることはできないとし、9月定例会で存続を求める意見書を全会一致で可決し、愛知県知事と県警本部長及び安城警察署長へ送付しました。また11月16日には、議長と市長の連名の存続要望書を、大村知事と県警の渡辺地域部長に提出し、正副議長と市長、地元区长が連携し、交渉の中で交番存続を強く訴えました。</p> <p>そもそもこの交番問題は、知立市の犯罪発生率が、愛知県下で常に上位にある中で、特に上重原地区が、5、6年前に県下トップの犯罪発生という状況悪化に伴い、当該地区に1か所増設の要望をしてきた経緯があります。ですから、まず当市の要望は、従来から1か所増設の市内5か所設置を前面に出しながら今後も交渉や要望活動に強く臨み、その調整の中で、昭和交番廃止による4か所から3か所になる最悪の事態を何としても防ぎ、ギリギリの合意点として、現状の4か所を維持していくことが当市の真意であることを理解していただくように、今後とも議会一丸となって強く働きかけていきたいと考えていますし、それに伴う市民の強力な世論のバックアップをお願いする次第です。</p>